

「集団的自衛権行使容認反対」緊急集会に1000人

全体で
団結



集会には1000人が参加し、「集団的自衛権の行使容認反対」を訴えた=6月18日・札幌市

安倍政権は、憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認をめぐり、「戦争ができる国」へ突き進んでいる。「閣議決定」について予断を許さない状況のなか、連合北海道は6月18日、札幌市・大通西3丁目で「憲法解釈変更による『集団的自衛権行使容認』を許さない全道集会」を開き、市民ら約1000人が参加した。

「安倍暴走政治」は許さない！ 「戦争犠牲」は国民



プラカードを持参する参加者も多かった

はじめに、工藤・連合北海道会長は「集団的自衛権の限定行使という、まやかしの論理で憲法の平和主義を踏みにじることは断じて許してはならない。集団的自衛権の限定行使の具体的ケースと事態は曖昧・不明であり、戦争ができる国へと変貌することは明らかだ」と痛烈に批判した。また、「日本を戦争による死亡者を産む国にするべきではない。平和国家の理念を守り、立憲主義を否定する国民不在の安倍暴走政治を許さないために、北海道民全体で団結してたたかおう」と呼び



抗議行動には、全道から200人が集まった=6月21日・札幌市

『戦争しない意志』明らかに

北海道平和運動フォーラムは6月21日、札幌市・大通西3丁目で「集団的自衛権の行使容認にむけた『憲法解釈変更の閣議決定』を許さない緊急抗議行動」を開き、200人が参加した。中村・道平和運動フォーラム代表は「もし安倍首相が言っており、自衛隊員を戦場に出して、亡くなるようなことがあったら、一体だれが責任をとるのか」と批判したうえで、「戦争しない意志」を明らかにすれば、いまならまだ止められ

る。その思いをしっかりと共有し、取り組みにつなげよう」と呼びかけた。徳永エリ・参議は、「憲法は国民の権利を守るためのもの。それを権力者が解釈で破ることは断じて許されない。憲法9条の空洞化だ」と批判したうえで、「安倍首相によって、日本は戦後最大の危機にむかっている。いま間違った判断をすれば、将来の子どもたちや若者の未来に多大な影響を与える。未来に責任を持ち、なんとしても阻止しなければならぬ」と述べた。その後、デモ行進で、市民らにアピールした。

かけ、あいさつした。その後、佐藤博文弁護士が「集団的自衛権を行使すれば、米国の戦争に巻き込まれ、相手国から攻撃されても合法とされる」と述べ、「法の支配で政治家を縛り、個人の尊厳を守る立憲主義を、安倍政権は根本から壊そうとしている」と批判した。勝部・民主党北海道幹事長は「戦争で犠牲になるのは、自衛隊員や一般国民。無責任な安倍政権の暴走をこれ以上許してはいけない」と述べた。

道本部独自「全国署名」街頭行動



緊急集会前に行った街頭行動。今後も継続して行う



山上委員長も積極的に取り組んでいます！=6月23日

道本部は、6月24日、札幌市・大通公園で「戦争をさせない全国署名」街頭行動を独自で実施した。今後も毎週火曜日の夕方を基本に独自の街頭行動を実施する。目標達成にむけ、全力で取り組みを強化しよう。

やるぞ！
目標達成まで全力



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 渡部 裕幸

関西電力大飯原発再稼働を認めない福井地裁判決が出た。道内でも北海道電力泊原発の廃炉、電源開発大間原発建設さし止め訴訟の後押しとなる。福島原発事故で原子力発電技術の危険性と本質、被害の大きさが明らかになった。

朝風

安倍政権は、住民の反対を無視し、原発の再稼働、核燃料サイクル推進、もんじゅ研究の継続など原子力に依存している。原発再稼働をめざすよも事故の収束にむけ動くべきだ。原発のない社会の実現にむけ、取り組みを進めよう。

道本部ホームページ

「QRコード」ができました！
携帯電話で下記のコードを読み込めば、道本部ホームページにリンクすることができ、ぜひ活用ください。



道市町村課へ要請

道本部は6月19日、「給与制度の総合的見直し」に関して、道市町村課長に「地公法改正に伴う新たな人事評価制度導入」に要請書を提出した。道市町村課長は給与制度の総合的見直しは「各市町村が判断できるような情報提供する」。地公法改正は「運用・活用は自治体で判断するもの」との考えを示した。



要請書を提出する、(左) 藤盛副委員長

戦争をさせない 北海道委員会

「戦争をさせない」
全国署名実施中！
◇目標 組合員×5筆
◇取り組み期限 延長します！
2014年8月末まで
◇6月11日時点 集約状況 80,835筆

JICHIRO スケジュール

7月	
7日(月)	第21回執行委員会 (札幌市)
8日(火)	2014人勤期ブロック別上京行動 (東京)
11日(金)	道本部第3回(道支部第4回)共済推進委員会 (札幌市) 第19回自治労青年女性中央大交流集会 (~13日、山梨県) 第35回全国保育集会 (~13日、さいたま市)
12日(土)	道本部安全衛生講座 (札幌市) さようなら大間原発集会 (函館市)
19日(土)	2014介護・福祉集会 (~20日、札幌市)
22日(火)	第22回執行委員会 (札幌市)

道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名:minnade
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

臨・非等職員
連絡会議

『等しきものを等しく』

道本部臨時・非常勤等職員連絡会議は6月21日、札幌市・自治労会館で「第21回総会兼第30回全道交流集会」を開き、

「私たちの賃金は均等待遇にはほど遠い。自分たちの身近なところから、一人でも多くの仲間を増やし、要求を実現しよう」とあいさつし、単組報告や発言で補強された方針を全体で確認した。

その後、川村准教授をコーディネーターにパネルディスカッションを実施し、職場実態交流や組織化を進めるうえでの課題を共有した。

野角局長からは「東京都町田市図書館に勤務する嘱託職員の組合結成で職場の雰囲気は良くなった。互いの課題を共有することに、内側にむいていた不満が当局にむくようになった」と組合を結成し、ともに運動を進めることによるお互いの変化について話があった。

最後に川村准教授が、「賃金の理不尽な状態についてはすぐに変わるものではないが『等しきものを等しく扱う』という運動をしていかなければならない。いままで非正規をないがしろにしてきたものを、いま是正しようとしている。この運動の正しさに確信をもち、運動を上げていこう」とまとめた。



パネルディスカッションでは、(写真左から)川村准教授がコーディネーター、野角裕美子さん(本部組織拡大局長)、板橋弘美さん(中標津町労連)、東芳子さん(札幌市労)がパネラーを務めた

「私たちが賃金は均等待遇にはほど遠い。自分たちの身近なところから、一人でも多くの仲間を増やし、要求を実現しよう」とあいさつし、単組報告や発言で補強された方針を全体で確認した。交流集会では、北海学園大学・川村准教授が、官製ワーキングプア問題に労働組合がどう取り組むか」と題し講演した。川村准教授は「重要なことは、みなさん自身が、住民や職場の中で臨時・非常勤等職員の実態を訴えていくことだ」と強調したうえで、「公契約条例制定は自治体による反貧困宣言。自治体首長に公契約条例の制定を求め



全道から141人が参加した＝6月14日・札幌市

道本部女性部は6月14日、札幌市・自治労会館で「女性部長・女性担当会議」を開き、95単組・総支部141人が参加した。「私たちがつくりあげた『女性部』の意義とこれから変えようよ!自分を、家庭を、職場を、地域を、日本を、世界を!」と題し、樺山・前東京道本部政策局長が講演した。

樺山さんは自身の経験から、「東京都の職員として、差別を受けている側の人の声を拾いあげていかなければならない。そのことが政策に結びつけていくことになる」と職場について語った。私たちが「もし自分だったら」と置き換える作業が必要。そのことが気づきになり、そこから職場改善や自分自身の改善にもつながる」と述べたうえで、

女性部長・女性担当者会議 自分に置き換え職場改善

最後に川村准教授が、「賃金の理不尽な状態についてはすぐに変わるものではないが『等しきものを等しく扱う』という運動をしていかなければならない。いままで非正規をないがしろにしてきたものを、いま是正しようとしている。この運動の正しさに確信をもち、運動を上げていこう」とまとめた。

樺山さんは自身の経験から、「東京都の職員として、差別を受けている側の人の声を拾いあげていかなければならない。そのことが政策に結びつけていくことになる」と職場について語った。私たちが「もし自分だったら」と置き換える作業が必要。そのことが気づきになり、そこから職場改善や自分自身の改善にもつながる」と述べたうえで、

ワークライフバランス(仕事と生活の調和)や東京都の次世代育成支援プランの実施状況などについて解説した。参加者からは「もし自分だったら」という意識を忘れず、問題を共有することができたら、単組もまとまっていけるのではないかと思った」「自分が聞ける場を構築していく」と集約した。

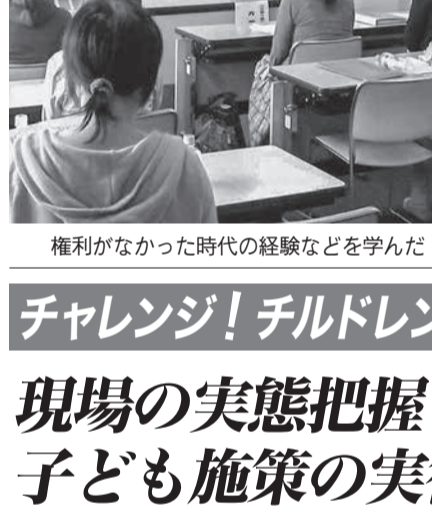
女性部の必要性は出てくる



職場だより

【胆振地方本部発】5月25日、苫小牧市民会館で、「胆振地方本部女性部学習会」を開き、7単組16人が参加した。室蘭市職労で長く女性部長を担っていた、斉藤昌子さんを講師に迎え、女性部の権利がもたらなかった時代の話から、経験談を踏まえ「これからの

働く女性に伝えたい」と題し、講演をした。斉藤さんは、「入庁当時は男性と同じ仕事をさせてもらえず、結婚すると女性は仕事を辞めるのが当然の時代だったため、女性部の集まりは皆で同じ悩みを共有できてとても働く活力となった」と、女性部の必要性を説いた。



権利がなかった時代の経験などを学んだ

よう頑張してほしい。女性部の必要性は必ず出てくるから、皆で協力して分担しながら、何とか組織の維持だけはしてほしい」と答えた。

学習会を通して、組合に結集することの必要性、女性活動に参加する意義を再確認しました。(胆振地方本部・女性部長・羽馬千恵)

厚労省は5月15日に障害福祉サービス等に関する改正指針を告示しました。そのなかには「障害福祉計画と子ども・子育て支援事業計画との調和」や「障害児支援の体制整備にあたり子ども・子育て支援施策との緊密な連携をはかる必要がある」という実態が数多く報告されています。部局間の連携も重要ですが、各自治体には、こうした現場の声も踏まえ、たううえで、より良い子ども施策を実行していただきたいと強く思います。

これらのことは「すべての子どもの健やかな育ちを標榜する子ども・子育て支援法の理念からすると、ごく妥当な考えだと思えますが、保育士からは「障害児」と認定されてはいないが、「特別な配慮を必要とする」という対応に追われている」という実態が数多く報告されています。部局間の連携も重要ですが、各自治体には、こうした現場の声も踏まえ、たううえで、より良い子ども施策を実行していただきたいと強く思います。

忙中余話

サッカー日人が行方不明。森の集団墓地で無数の遺体を掘り出す作業員。何とも筆舌のイビチャ・オシムが故郷に尽くしたいと同時に、いま安倍政権が行おうとしている「集団的自衛権行使容認」のことが重なり、気味の悪さを感じた。本紙発行の頃は、国民がワールドカップで盛り上がる様子を見届けた。倍政権は「集団的自衛権行使容認」を閣議決定しているかもしれない。現政権に反対できる政治勢力がない中、労働組合や市民団体などの組織が団結して、国民に訴え続けなければ、独裁政治は変わらない。(三浦亨)

チャレンジ! チルドレン・ファースト④④

現場の実態把握し子ども施策の実行

厚労省は5月15日に障害福祉サービス等に関する改正指針を告示しました。そのなかには「障害福祉計画と子ども・子育て支援事業計画との調和」や「障害児支援の体制整備にあたり子ども・子育て支援施策との緊密な連携をはかる必要がある」という実態が数多く報告されています。部局間の連携も重要ですが、各自治体には、こうした現場の声も踏まえ、たううえで、より良い子ども施策を実行していただきたいと強く思います。

これらのことは「すべての子どもの健やかな育ちを標榜する子ども・子育て支援法の理念からすると、ごく妥当な考えだと思えますが、保育士からは「障害児」と認定されてはいないが、「特別な配慮を必要とする」という対応に追われている」という実態が数多く報告されています。部局間の連携も重要ですが、各自治体には、こうした現場の声も踏まえ、たううえで、より良い子ども施策を実行していただきたいと強く思います。